

思い出振り返る歌に共感

八幡東区在住の会社社長
論手修さん(51)と、門司区
出身の弁当店経営白川英司
さん(56)。(東京都千代田区
在住)のデュオ「エイジと
ロンデ」が歌う「ふれぜん
と」が、口コミで広がり、
保育園や幼稚園の卒園式で
歌われ始めている。白川さ
んが、長男の保育園卒園時
に作詞作曲。軽快で歌いや
すいメロディーとともに、
巣立っていく子どもたちと
の日々を感謝の思いと共に
振り返る歌詞が、保育士や
幼稚園教諭らの共感を呼ん
でいるようだ。

論手さんと白川さんは音



「ふれぜんと」を歌っている白川英司さん(右)と論手修さん

北九州出身「エイジとロンデ」 作詞作曲の「ふれぜんと」

卒園式で評判広がる

楽活動を通じて30年以上前
に知り合い、バンド「ラフ
・マシーン」を結成して
98年に全国デビュー。

「ふれぜんと」(一番)

はじめて出会ってから
いくつもの季節を重ね
いつのまにか君たちは
次のステージへ
確かに過ぎた時を
君たちと過ごせたことは
私たちにとって
何よりもの宝物

この広い宇宙で
出会えたことは
神様からの
きっとプレゼント

たくさん教えてあげた
つもりでいたけど
教えられたことの方が
たくさんあった気がする
今思えば遊んであげた
つもりでいたけど
たくさん遊んでもらった
そんな気がする

©2007白川英司

94年には、2人のデュオ「
OVE」で「お前は夢の中
〜1994」をヒットさせ、
その後も北九州市、東京に
分かれて暮らしながら、ラ
イフやレコーディングなど
を続けてきた。

05年1月、白川さんが、
長男が通っていた保育園の
園長から「先生たちの思い
をつづった歌を作ってもら
えないか」と頼まれたのが
きっかけ。「お世話になっ
た園に恩返しができれば」
との思いで曲を作り、同年
3月の卒園式で披露したと
ころ、保育士や保護者の間
で評判となった。

翌年には、保護者たちの
要望に応じて母親の我が子
への思いを表現した曲「無
償の愛」も作詞作曲。2曲
は口コミで広まり、現在、
白川さんのボーカル、論手
さんの演奏・コーラスによ
るCD化が検討されるまで
になった。

北九州市内でも、同市

私立幼稚園連盟(仁保一
正会長)が、「ふれぜん
と」を来春の卒園式に使
ってはどうかと、加盟す
る全96園にCDを配布。
同市保育所連盟・保育士
会も、加盟園への紹介を検
討中という。仁保会長は先
生が「教えてあげた」の
ではなく、子どもたちが「教
えられた」と歌う内容が
とてもいい」と感じ入った
様子。

今年3月の卒園式で「ふ
れぜんと」を使った市内の
幼稚園や保育所では、論
手さんのギターに合わせて
歌っているうちに感極ま
り、泣き出してしまいう保
育士の姿も。論手さんは
「不思議なパワーを持った
歌。多くの先生たちに歌
ってもらいたい」と話して
いた。

24日午後8時から、小倉
北区室町のライプハウス
「ライプスポットWOW」
(093・571・713
1)で開かれる論手さんと
白川さんのライブでも「ふ
れぜんと」が紹介される予
定。曲に関する問い合わせ
は論手さん(093・57
1・8208)へ。